

●結実が確保されている園地は、仕上げ摘果・見直し摘果を進めて下さい。品種別の着果基準は、特報№6参照。
●中野市管内全体的にスモモヒメシンクイの発生は落ち着いていますが、園内の発生状況を確認して、被害果実は、直ちに除去し、園外で処分してください。この時期にシンクイムシの密度を抑える事が、最重要防除となります。
◎収穫開始予想を更新しましたので、ご確認ください。(平年比▲3~4日。裏面に記載)

1. プラム

【第10回 定期防除】 対象病害虫：灰星病、アブラムシ類、(シンクイムシ類)

散布時期	・7月1日~10日 (第9回定期散布から10日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤(まくびか) 20mℓ 劇バيسロイドEW 33mℓ (14日前、2回) *収穫前規制に注意 ベルクートフロアブル 50mℓ (3日前、3回 *収穫前規制に注意)	散布日 7月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	① 今回以降の展着剤は、機能性展着剤「まくびか」5000倍を使用してもよい(湿展性改善、果実汚染防止) ② 紅りょうぜんなど収穫時期が近い品種は、バيسロイドに代えてアルバリン顆粒水溶剤の2000倍(前日、3回)を使用する。	

2. プルーン (2回分の防除を掲載)

【第6回 定期防除】 対象病害虫：灰星病、(炭そ病)、アブラムシ類、(カメムシ類)、(シンクイムシ類)

散布時期	・6月20日~6月29日 (第5回定期散布から14日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ 劇バيسロイドEW 33mℓ (14日前、2回) パレード15フロアブル 50mℓ (前日、2回)	散布日 6月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	①【ナミハダニ対策】 ダニコングフロアブルの2000倍(前日、1回)を加用する。	

【第7回 定期防除】：灰星病(すす点病)、シンクイムシ類、ケムシ類

散布時期	・7月4日～7月13日 (第6回定期散布から14日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10mℓ ベルクートフロアブル 50mℓ (3日前、3回) エクシレルSE 40mℓ (前日、3回)	散布日 7月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	①サントス等の早生種に散布する場合は、収穫前日数に注意し、収穫予定3日前には散布する。	

●スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査結果について

越冬世代の発生は落ち着きましたが、引き続き注意が必要です。薬剤散布10日以内の防除を徹底してください。

年	一本木		上今井		倭	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4
2023年	設置	設置	設置	設置	設置	設置
4月19日						
4月26日	5	4	40	1	2	0
5月2日	14	4	14	0	27	10
5月10日	72	12	40	3	61	18
5月17日	24	7	23	6	40	22
5月24日	69	22	2	3	28	87
5月31日	23	14	0	3	9	21
6月7日						

*調査機関：北信農業農村支援センター 数字はスモモヒメシンクイ成虫の誘殺数

●管理作業

☆新梢生長が旺盛な園地が散見されます。樹冠内部まで光が入るよう、新梢管理を徹底して下さい。

☆笠掛け(貴陽、太陽、シナノパール等)は、6月下旬～7月上旬を目安に実施する。

●収穫開始予想

「南部地域」で、平年より3～4日早くなると予想されます。

- ・大石早生 - 6月23日頃
- ・サンタス - 7月20日頃
- ・ソルダム - 7月25日頃
- ・紅りょうぜん - 7月15日頃
- ・菅野中生 - 7月20日頃
- ・サマーエンジェル - 7月25日頃
- ・貴陽 - 7月30日頃

次回特報発行予定日：7月1日 問合せ先：園芸課・担当 横田 (080-5147-8257)

国の補助事業「果樹経営支援対策事業」を活用して、プラム・プルーンの生産基盤の若返りと拡充を図りましょう！ 詳細は、「果樹経営支援対策事業のお知らせ(6/16組合員訪問日に配布)」をご覧ください。